

記名醫療債券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ質權者ノ名及住所ヲ醫療債券原簿ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ日本醫療團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第四十五條 醫療債券應募者ニ對スル通知又ハ催告ハ醫療債券申込證ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者ガ別ニ其ノ住所ヲ日本醫療團ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル未ダ醫療債券ノ證券ノ發行ヲ爲スニ至ラザル場合ニ於テ醫療債券權利者ニ對スル通知又ハ催告ニ付亦同ジ

記名醫療債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ醫療債券原簿ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者ガ別ニ其ノ住所ヲ日本醫療團ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前二項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

無記名醫療債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ公告ノ方法ニ依ルコトヲ得

第四十六條 無記名醫療債券ヲ償還スル場合ニ於テ欠缺セル利札アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ償還額ヨリ控除ス但シ既ニ支拂期ノ到來シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
前項ノ利札ノ所持人ハ何時ニテモ之ト引換ニ控除金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

附則

本令ハ昭和十七年四月十七日ヨリ之ヲ施行ス

結核豫防法施行令中改正の件公布

結核豫防法施行令は日本醫療團令の公布に伴ひ左の

如く一部改正を見るに到つた。

結核豫防法施行令中改正ノ件

(昭和十七年四月十五日) 勅令第四百二十八號

結核豫防法施行令中左ノ通り改正ス

第五條中「結核療養所ヲ設置スル公共團體」ノ上ニ「日本療養團又ハ」ヲ加フ

第六條第三項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ日本療養團ノ結核療養所ノ入所ノ費用ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令ハ昭和十七年四月十七日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

大正八年十月二十日勅令第四百五十號結核豫防法施行令抄錄

第五條 結核豫防法第七條ノ規定ニ依ル入所ノ費用ハ結核療養所ヲ設置スル公共團體ノ負擔トス

第六條 第一項及第三項

結核療養所ノ管理者ハ前條ノ規定ニ拘ラス本人ヨリ入所ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得
管理者本人ヨリ徵收スルコトヲ得スト認ムルトキハ其ノ扶養義務者ヨリ之ヲ徵收スルコトヲ得

第一項ノ入所ノ費用ニシテ指定ノ期間内ニ納付ナキモノニ付テハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵集スルコトヲ得

勞務調整令施行規則中改正の件公布

勞務調整令施行規則中改正の件は昭和十七年四月二

十日付官報を以て公布せられたが、之を掲ぐれば次の如くである。

勞務調整令施行規則中改正ノ件

(昭和十七年四月二十日) 厚生省令第二十三號

勞務調整令施行規則中左ノ通り改正ス

第六條第一項第五號中「其ノ者ヲ使用セントスル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長(使用セントスル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄國民職業指導所長)」ヲ「國民職業指導所長」ニ改メ、同條第六項中「様式第五號ニ依リ」ノ下ニ「國民學校修了者ヲ使用セントスル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長(使用セントスル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄國民職業指導所長)」ニ對シ「ヲ加フ

第十三條ノ二 令第十一條第三項ノ規定ニ依リ新ニ雇入及就職スルモノト看做サルル場合ニ於ケル令第四條、令第七條第三號又ハ第六條第一項第五號ノ認可ノ申請ハ第三條、第八條及第六條第六項ノ規定ニ拘ラズ様式第九號ノ二ニ依リ從業者ニ付使用ノ場所間ノ所屬ノ移動ヲ決定スル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長ニ對シ之ヲ爲スベシ但シ使用ノ場所間ノ所屬ノ移動ヲ決定スル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

様式第九號ノ二

從業者雇入、就職(所屬移動)認可申請書

| 從業者ノ技術者、國民學校修了者又ハ一般青年ノ區別 | | 從業者ノ現在狀況 | | 從業者ノ移動後ニ於ケル狀況 | | 所屬移動ノ理由 | 從業者ノ氏名 |
|--------------------------|-------|----------|----------|---------------|----------|---------|--------|
| 所在地及名稱 | 職業ノ種類 | 現在使用ノ場所 | 從事ノ業務ノ種類 | 移動後ノ使用ノ場所 | 從事ノ業務ノ種類 | | |
| | | | | | | | 年月日生 |
| | | | | | | | 年月日生 |
| | | | | | | | 年月日生 |
| | | | | | | | 年月日生 |
| | | | | | | | 年月日生 |
| | | | | | | | 年月日生 |

昭和 年 月 日

國民職業指導所長宛

(記載心構)

- 一、本申請書ノ用紙ノ大サハ折上リ國定規格(25cm X 37cm)トスルコト
- 二、本申請書ハ事業主ガ其ノ雇傭スル從業者ニ付工場、事業場其ノ他ノ使用ノ場所間ニ移動ヲ行ハントスル場合ニ限ルモノナルコト
- 三、本申請書ハ當該ノ技能者、國民學校修了者又ハ一般青年タル從業者ニ付使用ノ場所間ニ所屬ノ移動ヲ決定スル場所ノ所在地ノ所屬國民職業指導所長宛提出スルコト
- 四、「事業ノ種類」欄ニハ例(ハ)金屬鑄造業、鐵道業、銀行業等ノ如ク具體的ニ記載スルコト
- 五、「從事スル(從事セシメントスル)業務ノ種類」欄ニハ其ノ職業名ヲ例(ハ)鑛山技術者、機械技術員、化學技術員、會計係事務員、預金係事務員等ノ如ク具體的ニ記載スルコト
- 六、「所屬移動ノ理由」欄ニハ其ノ特殊事情アルトキハ特ニ之ヲ具體的詳細ニ記載スルコト

〔参照〕

昭和十六年十二月十七日厚生省令第六十四號勞務調整令

施行規則抄録

第六條第一項及第六項

令第六條但書後段ノ場合トハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合トス

- 五 特別ノ事由アル場合ニ於テ特定ノ國民學校修了者ノ雇入ニ付其ノ者ヲ使用セントスル場所ノ所在地ノ所轄國民職業指導所長(使用セントスル場所ガ本則施行地外ニ在ル場合ニ於テハ雇入ヲ爲スベキ地ノ所轄國民職業指導所長)ノ認可ヲ受ケタル場合

第一項第五號ノ認可ノ申請ハ様式第五號ニ依リ之ヲ爲スベシ

南洋群島勞務手帳令の公布

南洋群島勞務手帳令は昭和十七年四月八日付官報を以て公布を見たが、之を掲ぐれば次の如くである。

南洋群島勞務手帳令 (昭和十七年四月七日 勅令第三百九十六號)

第一條 南洋群島勞務手帳ニ關シテハ國民勞務手帳法

法、國民勞務手帳法施行令及昭和十六年勅令第七百五號ニ依ル但シ國民勞務手帳法第十五條ノ規定及同法中國民勞務手帳審査會ニ關スル規定並ニ國民勞務手帳法施行令第二條第十四號及第十六條第二項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 國民勞務手帳法、國民勞務手帳法施行令及昭和十六年勅令第七百五號中厚生大臣トアリ又ハ地方長官トアルハ南洋廳長官、國民職業指導所長トアル